

- ⑦ 講 師  
県教育庁義務教育課、高等学校教育課指導主事

(2) 県立学校進路指導主事研修会

- ① 目 的  
県立学校の進路指導主事に対し、進路指導に必要な専門的事項について研修を行い、資質の向上を図り、進路指導の充実を期する。
- ② 主 催 福島県教育委員会
- ③ 期 日  
昭和49年 4月30日(火)～5月2日(休)
- ④ 会 場 福島県教育センター
- ⑤ 参 加 者 県立学校進路指導主事 93名
- ⑥ 内 容  
ア、講 義  
○ 進路指導の問題点  
○ 進路指導と職業指導  
○ 生徒指導と進路指導  
○ 進路指導におけるカウンセリクの方法  
イ、研究発表  
「進路情報の活用」 喜多方工業高校  
ウ、講 演 日本職業指導協会理事 小 谷 統 夫  
「進路指導の本質と進路指導主事の任務」
- ⑦ 講 師  
県商工労働部職業安定課職業指導官  
県教育庁高等学校教育課指導主事

- ③ 講 師  
教育庁義務教育課主幹及び県北教育事務所指導主事

④ 参 加 者 100名  
(2) 小・中学校教育研究協議会・特別活動部会

- ① 主 催  
県教育委員会、関係市町村教育委員会  
小・中学校教育研究会
- ② 研究主題  
ア、小学校  
○ 人間関係を大切にした学級指導の計画とその展開をどうしたらよいか。  
○ 実践力を発揮させる学級活動をどうしたらよいか  
イ、中学校  
○ 豊かな人間形成を目指し、生徒の自主的な活動をどのように指導したらよいか  
—— 生徒会活動と学校行事の 望ましい組織と運営 ——  
(年次別に副主題を設定し研究を深めた)
- ③ 期 日

項	校種	小 学 校	中 学 校
	地区大会	7月24日(火)～25日(休)	8月7日(木)～8日(金)
県大会	10月15日(火)～16日(休)	10月8日(火)～9日(休)	

地区大会は県下16会場で研究協議を行う。

県大会は小学校鹿島町立真野小学校、中学校会津若松市立一箕中学校が中心会場となり、授業及び研究主題等について研究協議を行った。

## 第6節 特別活動

### 〔義務教育課〕

#### 1 昭和49年度指導の重点

特別活動全体を通して、調和の統一がとれた指導ができるよう、全教師が協力して全体計画及び各内容ごとの指導改善を加え、地域や学校の実態・児童生徒の心身の発達段階や特性を考慮し、自主的、実践的な活動を助長するため、次の点を重点として指導の徹底を図った。

- (1) 指導計画の整備・充実を図る。
- (2) 指導体制の確立を図り、児童・生徒が自主的に活動できるように指導の徹底を図る。
- (3) 各内容ごとに細指導の重点をあげ指導の充実を図る。

#### 2 主 な 行 事

(1) 研究指定校発表会

児童・生徒の学力向上と豊かな人間形成に資するため特別活動領域について48・49年度は東和町針道小学校を指定し、研究を深め成果は大であった。

- ① 研究主題  
自主的な生活態度を伸ばすために、特別活動をどのように計画し指導したらよいか。  
—— 実践力を身につけさせる学級会活動 ——
- ② 期 日 昭和49年10月16日(火)

### 〔高等学校教育課〕

#### 1 卒 業 式

(1) 県立高等学校卒業生数

課 程	性 別	男	女	計
	全 日 制		11,758	11,183
定 時 制		621	532	1,153
通 信 制		35	161	196
計		12,414	11,876	24,290

(2) 県立特殊学校卒業生数

性 別	男	女	計
計	127	86	213